

記録：第 337 海外邦人安全対策連絡協議会

8月10日、「第337回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

6月からの感染急増を受けて7月は各種対応に奔走した1か月となった。前半はインドネシア当局の措置に対する緩和あるいは撤回要請が大きな課題となり、一方後半は日本への定期便が飛べなくなったことに対し特別便を手配することで邦人の一時帰国の足を確保することに努めた。そして現在、インドネシアでのワクチン接種を希望する在留邦人の声に応えるべく検討を進めているところである。日本で承認されているワクチンの接種となるとなかなか簡単ではないが引き続き努力を続ける。

(大使館政務部書記官)

感染拡大に歯止めがかかり社会情勢が良い方向に向かうよう期待している。一点、出会系マッチングアプリ利用におけるトラブル回避のためをお願いをしたい。こうしたアプリは日本と同様にインドネシアでもトラブルの温床になっている。詐欺や美人局などのほか、薬物購入を持ちかけられたり、実際に被害にあった事例を耳にしている。最近目立ってきておりご注意ください。

2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館警備班書記官)

邦人被害の発生は2件。1件目は邦人が多く利用するスーパーにおいてスリ等の盗難があったとのこと。スーパー等での買い物中も貴重品の管理には十分ご注意ください。2件目はブロックM内の路上で邦人男性がオートバイに乗った3人組にバッグをひったくられた事案があった。バッグ等は道路側に持たない、歩道を歩くなど基本的な防犯対策をお願いしたい。なお8月17日は独立記念日となるため、人混みには近づかないよう安全確保に注意していただきたい。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況

(大使館医務官)

新型コロナ感染は確実に減ってきている。緊急輸送の問い合わせなど重症化事例に関する相談もなくなってきた。病院での入院待ちもほとんどなくなっている。現在のところ今回の感染爆発は医療崩壊ギリギリのところではなんとか持ちこたえたと言えるのではないかと。ワクチン接種で感染自体は防げないが、感染しても発症しないあるいは重症化しないという効果はある。接種を受けていただきたい。また接種をしたからといって安心せず、感染しない、感染させないという意識を持って行動をお願いしたい。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

感染者数は落ち着いてきた。先月は750名の新規感染であったがこの1か月は250名となっている。50名の日本人出向者のうち26名が日本へ一時帰国している。ワクチン接種後に帰還し残留組と交代する予定。

(企業からの報告)

新規感染は1名。現在快方に向かっている。ワクチン接種のため8名が日本へ帰国する。うち5名はワクチン接種後にインドネシアに戻り残留組と交代。残りの3名は日本にとどまる予定でインドネシアへの帰還時期は未定。

(企業からの報告)

8月の現地法人社員の新規感染者はゼロ。現法・出向邦人駐在員45名のうち約30名が日本に帰国し約15名は残留、帯同家族は約30名全員が日本に帰国予定。最近当局の発表として、ワクチン未接種は出社できないという報道があるが残留組に未接種者がいるため影響を心配している。

(企業からの報告)

新規感染者はいない。日本人とインドネシア人を含めた全スタッフ44名のうち30名はワクチン接種を完了している。14名は未接種。うち日本人社員1名がワクチン接種帰国を予定。

(企業からの報告)

新規感染者はほとんどなくなってきた。駐在員の感染者もいない。ワクチン接種については日本人9名が3陣に分かれて帰国する計画。現在第一陣が1回目の接種を完了したところである。

東部工業団地ではエリアにより PPKM のレベルが変更となった。ブカシはレベル 4、カラワンはレベル 3 となった。レベルの違いで出社できる従業員数（パーセンテージ）が変わるのでご確認を頂きたい。また最近バイクの盗難が発生している。

（企業からの報告）

7 名の駐在員のうち 5 名が日本に帰国し 2 名が残留している。事務所勤務者約 50 名のうち 7 割、警備員 2,000 名のうち約 6 割がワクチン接種を済ませている。できるだけ早いうちに全員の接種を完了させる予定。

（企業からの報告）

8 月に入っての新規感染者は 4 名。7 月の 48 名から比べれば落ち着いてきている。9 名の駐在員のうち 6 名が帰国しワクチン接種を受ける予定。残りの 3 名のうち 2 名はインドネシアで接種予定。ナショナルスタッフの 450 名中 380 名がワクチン接種を完了している。

（企業からの報告）

ローカルスタッフの感染者は 7 月後半ピークであったが現在少し落ち着いてきている。日本人駐在員 25 名のうち 20 名弱が日本へ帰国した。早ければ 8 月下旬にインドネシアへ戻り残留組と交代する。

（企業からの報告）

日本人駐在員の新規感染者はゼロ。ナショナルスタッフ 6,000 人のうち 230 人が新規感染。先月の新規感染者 1,000 人に比べ減少している。ワクチン接種は駐在員 50 名中 43 名がインドネシアでワクチン接種済み。この時期に合わせて 10 人が日本で帰国休暇を取っており合計 16 人が日本に滞在している。

（企業からの報告）

現在ローカルスタッフ 7 名が自己隔離中。先月の数十名から減少した。日本人の新規感染者はいない。一時帰国については 26 名のうち 9 人がワクチン接種のため一時帰国中。ワクチン接種後に戻って順次交代する予定。E-Visa を取得した社員がインドネシアに入国できず期限切れになりそうで懸念している。

（企業からの報告）

新規感染者はこの 1 週間で 20 名程度。ピークと比べて激減している。日本人はいない。希望者には退避帰国を認める運用をしており現在 1 名が帰国中。ワクチン接種は全員がシノファームで完了している。ローカル社員も最近の感染者を除き接種済みである。Visa 取得者が入国できず期限切れとなる問題が出てきている。大使館にもご助力をお願いしたい。

(企業からの報告)

グループ全体で感染者累計は7百数十名。日本人は8名。8月に入って減少してきている。人の動きについては、帯同家族10家族は7月末までにすべて帰国した。60名の駐在員は3グループに分かれ、日本でのリモートワーク可能な10名が、7月から8月初旬にかけて日本に帰国。リモートワーク不能かつワクチン接種できていない20名が、一時帰国ワクチン接種。リモートワーク不能かつワクチン接種済の30名が残留となっている。

(企業からの報告)

従業員9,000名強のうち感染者は約180名となり落ち着いてきた。ワクチン接種については、現地法人の駐在員のうち4名が現地で1回目の接種を終えており、未接種の19名は日本に帰国。帰国中19名のうち8名は接種を終え次第インドネシアに戻る。11名は帰還時期未定。一方グループ企業の約50名の出向者は約40名が一時帰国をしてワクチンを接種し、接種次第インドネシアに戻る予定。

(企業からの報告)

8月に入って感染者は減ってきている。ローカル社員は1回目の接種終了者は9割、2回目接種が終了したものは4割。日本人5名中4名が一時帰国した。8月下旬から9月にかけてインドネシアに戻る予定。

(企業からの報告)

先月以降の新規感染者は、日本人はゼロ、現地スタッフは十数名である。新規感染者は減少してきている。ワクチン接種のため駐在員30名のうち23名を帰国させた。ワクチン接種を終えた後残留組と交代させる。

(企業からの報告)

6月中旬から一時退避を実施している。日本人90名のうち現在インドネシアに残っているのは15名。状況が改善の兆しを見せてきていることから、日本でのワクチン接種後、9月以降に順次帰還させる方向で社内調整中。現地社員のワクチン接種は概ね完了。

(企業からの報告)

インドネシア人社員に6月から7月初旬にかけて数十名の感染者が出たが、その後は数名となり落ち着いてきている。インドネシア人社員はほとんどがワクチン接種済み。日本人はワクチン接種のため一時帰国を実施中。日本人21名のうち18名が一時帰国中、残り3名は8月中旬までに一時帰国し、ワクチ

ン接種後インドネシアに戻る。家族8名も日本に帰国しワクチン接種後にインドネシアへの戻りを検討する。

(企業からの報告)

日本人に感染者はいない。7月に全従業員の10%が感染、25%が自己隔離となり事業活動に影響が出たが現在は通常稼働に戻っている。日本人1名が米国にワクチン接種のため渡航し2週間程度で戻る予定。

(団体からの報告)

ワクチン接種等の日本人の要望に対し対応してくださった日本大使館や航空会社など関係者の皆様に感謝申し上げます。感染していた日本人2名は回復した。インドネシア人スタッフ10名はワクチン接種を完了済み。日本人2名のワクチン接種はこれから。

(JICA)

新規感染者は先月10名であったが直近1か月ではインドネシア人も日本人もなし。技術専門家や家族等に一時帰国を勧奨しており、専門家では34名中9名が、家族は35名中12名が帰国した。今後も約20名が帰国し全体で半数以上が帰国する予定。事務所に勤務する職員は残留しており殆どは在宅勤務で対応中。今後ワクチン接種のために順次一時帰国を検討中。

(JETRO)

先月は8名の新規感染者が出たが7月中旬以降はいない。駐在員のワクチン未接種6名のうち3名が日本に帰国した。インドネシアへの帰還時期は未定。

(国際交流基金)

8月に入ってからの新規感染者はいない。日本人の感染者3名は2名が回復済みで1名が自宅療養中である。日本人職員、専門家、家族合計35名のうち先週までに1/3が一時帰国を完了した。今月中には9割程がワクチン接種のため一時帰国する。

(チカラン日本人学校)

教職員の新規感染者はゼロ。19名の教職員のうち12名が一時帰国中。2学期開始が8月27日であり、8月18日頃にはほとんどがインドネシアに戻る。ワクチン接種は教職員は全て完了している。家族は8月中旬までに完了予定。

(ジャカルタ日本人学校)

教職員スタッフの新規感染者はいない。児童や家族の感染報告も受けていない。日本人教員および家族 79 名のうち 12 名が一時帰国しワクチン接種をする予定。2 学期の開始は 8 月 27 日。

5. 補足説明・質疑応答

(大使館政務部書記官からの補足説明)

各社の報告で出ていた E-VISA の有効期限の取扱いにつき補足させていただく。現在インドネシア当局と協議中であるが、現在のところ有効期限を延長することは難しいという感触である。代替策として再申請の際に早く処理してもらうなど要望していきたい。

(団体からの要望)

VISA の取り直しには時間がかかる。再申請となった場合でも最初から手続きをやり直しするのではなく、簡略化した手続きを採用することができないか。

(大使館領事部長)

引き続きフォローアップする。進展については領事メール等でお知らせしたい。

(企業からの質問)

インドネシア査証申請時に必要とされている QR コード付き陰性証明について質問したい。先週日本からインドネシアに帰還した社員の陰性証明に QR コードが記載されていなかった。陰性証明は空港のクリニックで検査を受け入手したもの。入国時に提示する陰性証明には QR コードが必要かどうかは明確に規定されていない。今回は結果的に入国できたが、本件取扱いについて情報があれば共有願いたい。

(航空会社からの情報提供)

陰性証明に QR コードが付いていないという理由で入国できなかった事例は今のところ聞いていない。ただし QR コードがなくても入国できるということは確認できていない。

(大使館領事部長)

大使館からも当局に確認をして情報共有をしたい。

次回海安協は 2021 年 9 月 7 日 (火) に開催予定。